

令和7年（2025年）12月4日

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査の分析について

吹田市立岸部第一小学校

校長 清水 厚彦

本年度、6年生を対象として「令和7年度全国学力・学習状況調査」を実施し、7月下旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数、理科に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査の分析

#### 1. 国語 全体として正答率は全国値をやや下回っています。

学習意欲に関する質問においては全国値を上回っており、意欲的に授業に取り組んでいます。一方で、記述式や理由を問われる問いに対して正答率が低く、課題であるととらえています。

#### ①学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕の内容に基づく問題

##### 言葉の特徴や使い方に関する事項

・「漢字を文の中で正しく使うこと」については、全国値とほぼ同じです。

##### 情報の扱い方に関する事項

・「情報と情報との関係づけの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」については、全国値をやや下回っています。

##### 我が国の言語文化に関する事項

・「時間の経過や言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくこと」については全国値を下回りました。

#### ②学習指導要領に示されている〔思考力・判断力・表現力〕の内容に基づく問題

##### 話すこと・聞くこと

・「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容をとらえること」については、全国値をやや上回っています。

・「目的や意図に応じて集めた材料を分類したり、関係づけたりして伝えあうことを検討すること」については、全国値とほぼ同じです。

・「話し手と自分の考えを比較することについては、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるよ

うに表現を工夫すること」については、全国値をやや下回りました。

#### 書くこと

- ・「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握すること」については、全国値とほぼ同じでした。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることについては、全国値をやや下回りました。

#### 読むこと

- ・「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握すること」については、全国値をやや上回っています。
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること」については、全国値を下回っています。

### ③課題に対しての指導改善について

- 選択式や短答式は正答率が高い一方、記述式の問題に対して、正答率が低い傾向がみられました。自ら考えて条件に合わせてまとめる力を育成するために、問題文を正確に読み、問題文の指示を的確に読む経験や、要旨をまとめる学習指導を継続していきます。
- 段落相互の関係や文章と文章との関係、文章と資料との関係を把握する問題に対して課題が見られました。文章の構造が整理された活字に触れる機会を取り入れた学習指導も進めていきます。
- 文章を書く際に創意工夫を盛り込んでいくために、自分の経験を言葉にして語っていくことや、身近な話題を取り上げた文章を書く活動を通して、自分なりの工夫が発揮できる場面を増やし、積極的な意欲を引き出す学習指導を進めていきます。

## 2. 算数 全体として正答率は全国値をやや下回っています。

「算数が得意」「算数が好き」等の質問については肯定的な回答が全国値を上回っています。一方で〔知識及び技能〕や〔思考力、判断力、表現力等〕に関する問題の正答率の面では、全国値をやや下回る結果となり、課題としてとらえています。

### ①学習指導要領に示されている各領域の内容に基づく問題

#### 数と計算

- ・「異分母の分数の加法」については、全国値とほぼ同じですが、「計算の意味を考え、数や言葉を用いて数量の関係をとらえ式や言葉を用いて表すこと」については、全国値を下回りました。

#### 図形

- ・「角の大きさについて理解していること」については、全国値とほぼ同じです。一方で、「台形の意味や性質」「基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を指揮や言葉を用いて記述すること」については、全国値を下回りました。

## 測定

- ・「はかりの目盛りを読む」ことについては、全国値を上回りましたが、「伴って変わる二つの数量に着目して問題を解決する」ことについては、全国値を下回りました。

## 変化と関係

- ・「割合」や「単位量当たりの大きさ」の問いで、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと」について、全国値を下回りました。

## データの活用

- ・「棒グラフから、項目間の関係を読み取ること」については、全国値を上回りました。
- ・「目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」については、全国値を下回りました。

## ②課題に対しての指導改善について

- 基礎的な問題、発展・応用の問題に関しても、正答を導き出すことが難しかった問題が多く、一般的な課題としてとらえています。そのため、日々の授業の中で、生活と結びつけながら、基礎的な知識・技能をつけていくとともに、どのような領域・単元であっても、なぜそうなるのか理由を考えられる活動を学習計画の中に取り入れた学習指導を継続していきます。
- 授業において、自分の考えを説明する場面を取り入れるとともに、他者の説明からの気づきを得ることで自身の解き方や説明の仕方を練り上げていく学習指導を行っていきます。
- 算数の学習に対して意欲的に取り組んでいる結果をもとに、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できることをより高く実感できるよう指導を行っていきます。また、困難な問題に対しても最後まで粘り強く考える姿勢を育てていけるよう指導していきます。

## 3. 理科 全体として正答率は全国値を下回っています。

### ①学習指導要領に示されている各領域の内容に基づく問題

#### 「エネルギー」を柱とする領域

- ・「電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わる事」については、全国値をやや上回っています。
- ・「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を問う問題」や「回路のつくり方を発想する問題」については、全国値を下回りました。

#### 「粒子」を柱とする領域

- ・「水の温まり方の問題に対して、観察・実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること」については、全国値を上回りました。
- ・水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を関連付けて説明することについては、全国値を下回りました。

### 「生命」を柱とする領域

- ・「レタスの種子の発芽の条件について新たな問題を見だし、表現すること」については、全国値をやや上回りました。
- ・「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識や、顕微鏡を操作し適切な像にするための技能」については、全国値を下回りました。

### 「地球」を柱とする領域

- ・「水のしみ込み方の違いについて、結果や問題のまとめを基に、他の条件での結果を予想してすること」については、全国値をやや上回りました。
- ・「水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識に関連づけて説明すること」については、全国値を下回りました。

## ②課題に対しての指導改善について

- 知らないことや珍しいものに対して素朴で素直な疑問や興味・関心を示すものの、細やかな記録や観察をもとにまとめたりすることについて課題が見られました。個々の児童が光学顕微鏡等の器具や教具を使用しながら学習できる機会を増やし、実験や体験を伴う指導の充実を図ります。
- 既習内容と関連付けて考えることに課題がみられます。既習内容を基礎的学力や知識としての定着を図るため、視聴覚教材や画像・動画をさらに充実させ、多面的・多角的に既習内容に触れる機会をつくり、一人ひとりの知識の定着につながる学習指導を行っていきます。
- 「なぜそうなるのか、結果から何が言えるか、そのことがどうつながりしているのか」といった思考よる問題解決力を養うために、考えを文章化して発表させ、適切なまとめ方や書き方を指導したり、グループでの意見交流の機会を増やしたりすることを通して、集団として学びを深める学習指導を行っていきます。

## II. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【教科・学習に関する質問】

#### 全国値とほぼ同じもの

- ・読書は好き。
- ・PCやタブレットを使って、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる。
- ・PCやタブレットを使うと、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたり、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

#### 全国値を上回るもの・やや上回るもの

- ・国語、算数、理科の学習が好き。
- ・授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ。
- ・PCやタブレットを使って、分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。
- ・学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの勉強時間が30分より少ない。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの勉強時間が1時間より少ない。

- ・学校の授業時間以外に、普段1日当たり読書時間が30分より少ない。

#### 全国値を下回るもの

- ・PCやタブレットを使って、自分のペースで学習を進めることができる。

### 【基本的生活習慣等の質問】

#### 全国値とほぼ同じもの

- ・毎日同じ時刻に寝ている。

#### 全国値を上回っているもの

- ・学校の授業時間以外に普段、1日当たりの勉強時間について「全くしない、30分より少ない」
- ・学校が休みの日、家で勉強を全くしない。
- ・平日1日当たりのゲームの時間（2時間以上）
- ・平日1日当たりの時間のスマートフォンやSNS・動画視聴の時間（2時間以上）

#### 全国値を下回るもの

- ・朝食を毎日食べている
- ・毎日同じくらいの時刻に起きている。

### 【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等の質問】

#### 全国値とほぼ同じもの

- ・人の役に立つ人間になりたい。

#### 全国値を上回っているもの・やや上回っているもの

- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・自分には、良いところがある。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる。
- ・友達関係に満足している。

#### 全国値を下回っているもの・やや下回っているもの

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけない。
- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。

## 【改善と向上に向けて】

今後も伸ばしたい点として、国語・算数・理科が「好き」、学校が「楽しい」という「学習意欲」、友達関係に満足、困りごとを相談できるといった「つながり」、自分の良いところがある、生活の中で幸せを感じる「自己肯定感」が挙げられます。これら「学習意欲・つながり・自己肯定感」を土台に、改善と向上に向けて取り組んでいきます。

- 異なる意見を楽しむ姿勢や、将来の夢、いじめ防止意識などに課題が見られました。学級会や委員会活動等を通じて、自分たちで学校や行事を作る力を育んだり、キャリア教育や地域交流を通じて夢や目標を考える学習機会も設けたりしながら、多様な考え方に共感し、尊重する力を育てる指導をおこなっていきます。
- ICT 機器の活用に関して、日常的にタブレット等に触れることはできていますが、「自分のペースで学習できる」という項目が全国平均を下回りました。また、基本的な生活習慣の面からは、学習以外での ICT 機器の使用時間が生活リズムの乱れに影響を与えていることも課題としてとらえています。学校では、適切で有効な活用の方法を学習指導に取り入れていきますので、ご家庭では、朝食を必ず摂る、就寝前 60 分はスマホやテレビを控える、起床時刻を一定にするなど、規則正しい生活を心がけていただきますようお願いいたします。